

本校は、安全・安心な教育環境を整備し、危機管理体制の充実を図ることを基本方針として、日々のさまざまな活動に取り組んでいます。

そこで、今年度は、防災だよりを発行し、防災に関する学校の取組や情報などをお伝えすることになりました。1年間、よろしくお願いします。

さて、第1号では、4月～6月の取組とちょっと情報についてお知らせします。

○ 本校の取組(4～6月)

○ 4月 避難訓練(風水害)

梅雨シーズンを前に、風水害の発生の危険性が高まったという状況を想定し、山側から離れた場所へ避難する訓練を行いました。



↑ 二次避難(体育館)
引き渡しの隊形に整列しました。



○ 5月・6月 職員による作業

月に1回の放課後の大清掃の時間に、花壇の整備に加え、これからの雨に備えた作業を行いました。山沿いにある道路の側溝の穴や縁についた苔や土を取り除いたり、除草したりして、水が側溝に流れやすいようにしました。また、山沿いフェンスの溝の掃除や土嚢の補修作業も実施しました。

○ 5月 福祉ゾーン6施設合同 防災訓練

昨年度までは火災の発生を想定した訓練でしたが、今年度は地震が発生したという想定で福祉ゾーン内の6施設(本校、みなみのかぜ支援学校、療育センター、ひまわり学園、リハビリテーションセンター、専門学校)合同で防災訓練を行いました。

本校は、グラウンド及び正面玄関前に一次避難をし、人員等を確認して、今回の訓練の総合本部のみなみのかぜ支援学校へ報告を行いました。



↑ 一次避難
(正面玄関前)

○ 6月 引き渡し訓練

今年度は、実際に引き渡しが必要になったときの状況に近づけるため、保護者の皆様には車での待機をお願いし、防災メールで連絡、引き渡しを開始しました。実際の訓練進行の状況に対応し、事前に配布した文書の時刻より遅い引き渡し時刻をメールでお知らせすることになりましたが、スムーズに引き渡しを行うことができました。保護者の皆様、御協力、ありがとうございました。



←防災メールの発信

いち早く情報発信できるように体育館に発信できる環境を整備してあります。



← 引き渡し

照合カードにより確認を行い、引き渡しを行いました。

～ちよこつと情報～

○ 本校の備蓄品 普段はどこに・・・?



4～5月に一部を展示しましたが、普段は校長室の向かいにある視聴覚準備室に保管しています。

また、生活用水、飲料水の一部を体育館ステージ下にも保管しています。



さまざまな備蓄品



非常用電源

○ 「リュックに パックで セットで」



5月23日(水)、宮崎市民文化ホールで行われた防災シンポジウムに参加しました。陸上自衛隊第8師団宮崎県防衛協会の主催で開催され、「東日本大震災からの復興～宮城県南三陸町のあゆみ」をテーマに、南三陸町長の佐藤仁氏が基調講演をされました。

パネルディスカッションも行われ、南三陸町長、宮崎県危機管理統括官、自衛隊連隊長など、7名のパネリストが意見を述べられました。その中で、災害への備えについてのとても印象的な言葉がありました。それは、「リュックに パックで セットで。」です。それぞれに必要なものをすぐ持ち出すことができるように、日頃から「リュックに パックで セットで」備えておくことの大切さを感じました。

(文責:防災教育推進リーダー 中島)